

<大腸がんについて>

☆大腸がんが増えています

我が国では大腸がんにかかる人の数がこの 30 年で約 6 倍に増え、がん種別に見ると、2015 年に大腸がんで亡くなった人は女性では第一位、男性では第三位となりました。

食事など生活習慣の欧米化により大腸がんにかかる人が増えていると考えられています。

女性

がん部位	ランキング
大腸	1位
肺	2位
胃	3位

男性

がん部位	ランキング
肺	1位
胃	2位
大腸	3位

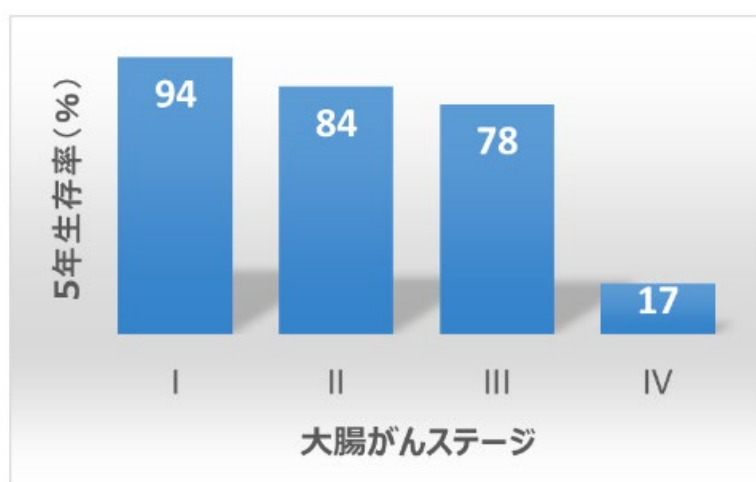
がんの統計'15 (公益財団法人 がん研究振興財団)

5 年生存率と治癒率

がんが見つかったから、治療を開始し 5 年後に生存している人の割合を「**5 年生存率**」といいます。

下図に示すように、大腸がんは早期発見し、すぐに治療を開始すれば予後は比較的良好です。

しかし、早期には自覚症状がないため、多くの方が自覚症状が出てから (ステージ III, IV)、病院を受診されています (2015 年の統計では進行したステージ III および IV で大腸がんが見つかった方が全体の 44% を占めています)



大腸がんの発症が増える 40 代以降の方に定期的な大腸がん検査をお勧めします。

<がんの王様「すい臓がん」について>

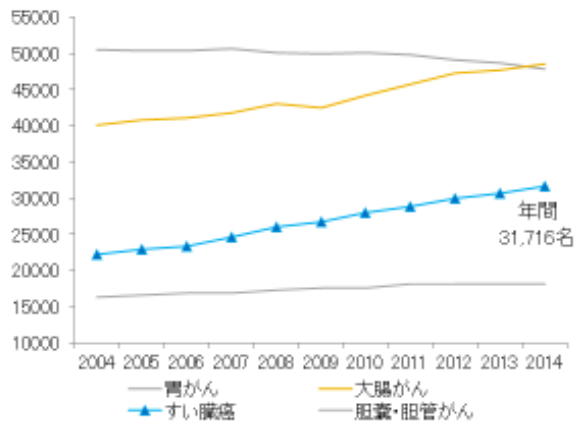
すい臓がんは、症状がほとんど出ないため、早期発見も難しいことから「がんの王様」と呼ばれています。

☆すい臓がんによる死亡者数は増大傾向にあります

すい臓がんは、痛みなどの初期症状がないことや、胃のうら側にあるため画像検査での発見が難しく、すい臓がんの特化した検査がないことなどから、かなり進行した状態で見つかることが多いがんです。

主な消化器がんの死亡者数の年次推移

消化器がんの死亡率では大腸・胃がんが上位であるが、すい臓がんによる死亡者数も増大している。



出所：厚生労働省「平成24年人口動態統計」

すい臓がんの特徴

早期発見が難しく、その予後も非常に悪いため「がんの王様」とも呼ばれる

- ✓ 痛みなどの自覚症状が少ない
- ✓ 精密検査を受けないまま進行してしまう可能性が高い
- ✓ 進行が早く、ステージⅣの生存率は非常に低い。

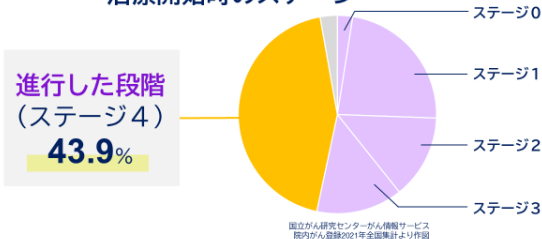
すい臓	ステージ		5年生存率%
	進行	Ⅳ	3~11
↑	Ⅲ	24	
	Ⅱ	44	
	初期	Ⅰ	57

早期発見・早期対処がカギ

出所：厚生労働省「平成23年患者調査」

また、がんの進行が速いため、ステージ4（進行がん）での「5年生存率」も低い傾向にあります。そのため、早期発見が最も重要になります。

治療開始時のステージ



治療開始時には進行した段階であることが最も多いのです

5年相対生存率



大腸がん・すい臓がんは早期発見が重要です。

各種がんリスク検査のご案内です

☆プロトキー大腸がんリスク検査 について

**血液検査で
大腸がんリスクを
知ることができます**



一回の採血で、大腸がんの発症により血液中で増減する 4 種類のペプチド（下記表に示す）を最新の質量分析装置により測定し、早期を含む大腸がんのリスクを解析判定します。

マーカー	ペプチド（タンパク質の断片）	元のタンパク質の生理作用	増減（大腸がん/健常者）
1	フィブリノゲンの断片	凝固亢進	増加
2	α -2-HS-糖タンパク質の断片	がんの浸潤	減少
3	血液凝固第XIII因子の断片	凝固亢進	減少
4	血管拡張因子刺激リン酸化タンパク質の断片	血管新生	増加

検査に先立つ食事制限は必要ありません。内視鏡検査に抵抗感のある方にも広く受診頂けます。

日本人の大腸がんの 35.9%は、生活習慣が原因と考えられています

ご自身の生活で 思い当たることはありませんか？

運動不足



喫煙

飲酒



肥満

食物繊維が少ない



加工食品が多い



肉食中心

現在のがんのリスクを知ってリスクに備えることが重要です

検査は簡単！短時間！



当日受付可



事前準備不要



採血のみ

※大腸がんを診断するものではありません

当クリニックでは、

プロトキー（大腸がんリスク検査）を受けて戴けます。（自由診療） 12,100 円（税込）

大腸がんスクリーニング検査で、健康と安心を手に入れましょう！

スタッフまでお気軽にお声掛けください

大腸がんリスク検査について（動画）

<https://youtu.be/SS3lz0GVzIk>

☆プロトキーすい臓がんリスク検査 について

血液検査で
すい臓がんリスク
を知ることができます



ペプチド	親タンパク質	臨床意義	増減*3
A1AT_1	α-1-アンチトリプシン	悪性腫瘍の指標	増加
FIBB_2	フィブリノゲンβ鎖	血液凝固、腫瘍転移	増加
FIBA_3	フィブリノゲンα鎖	血液凝固、腫瘍転移	減少
FETUA_4	α-2-HS-糖タンパク質	悪性腫瘍の指標	減少

*3 すい臓がん/健常者

一回の採血で、すい臓がんの発症により血液中で増減する 4 種類のペプチド（上記表に示す）を最新の質量分析装置により測定し、早期を含むすい臓がんのリスクを解析判定します。



1つでも当てはまる方にオススメです

- 40歳以上の方
- 喫煙歴がある・飲酒習慣がある方
- 大がかりな検査に抵抗がある方
- 手軽にリスクと対策を知りたい方
- 血縁者にすい臓がんの人がいる方

当クリニックでは、

プロトキー（すい臓がんリスク検査）を受けて戴けます。（自由診療） 12,100 円（税込）

すい臓がんスクリーニング検査で、健康と安心を手に入れましょう！

スタッフまでお気軽にお声掛けください

すい臓がんリスク検査について（動画） <https://youtu.be/uaZy0qR76FM>

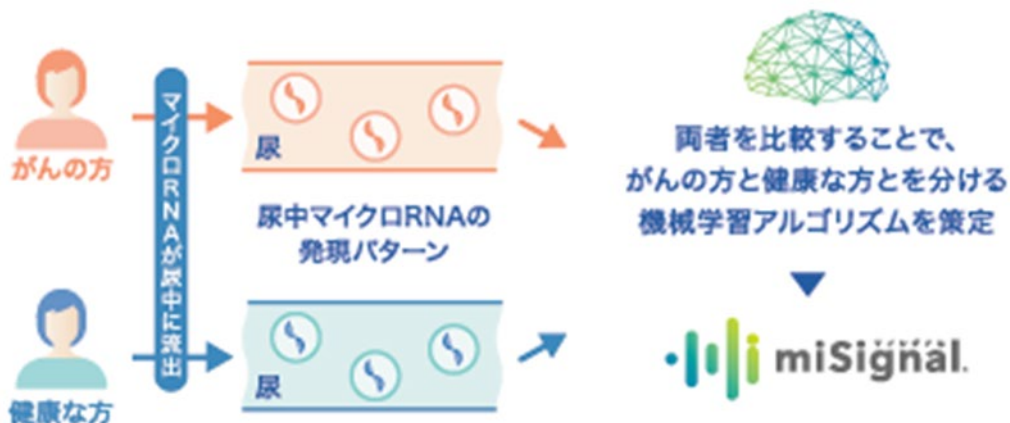
☆マイシグナルがんリスク検査

マイシグナルがんリスク検査は、尿を取るだけ（採血不要）で、7つのがんリスク（男性5種、女性7種）が一度でわかる検査です。



この検査は、細胞間のコミュニケーションを担う伝達物質であるマイクロ RNA を測定し、健常者とがん患者の尿中の発現パターンを解析することで、がんリスクを判定します。

マイクロ RNA とがん細胞について（動画） <https://youtu.be/6oCCbR-IydI>



☆男性 5種セット

(肺がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、食道がん)

☆女性 7種セット

(卵巣がん、乳がん、肺がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、食道がん)

当クリニックでは、マイシグナルがんリスク検査を受けて戴けます。

予約不要 当日でも検査できます (自由診療) 57,000円 (税込)

尿で行うマイシグナル検査

がん早期発見で健康長寿と安心を手に入れましょう！ スタッフまでお気軽にお声掛けください

尿で可能 マイシグナルがんリスク検査について (動画) <https://youtu.be/6ziHns5tq7s>

各種オプション価格表はこちら

<https://libra-sasashima.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/05/リブラオプション検査価格表.pdf>